

## 地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 越前信用金庫)

1. 項目	【大項目】ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 【小項目】経営改善支援
2. タイトル	若手の経営者及び後継者の育成
3. 動機(経緯)	将来、地元経済をリードしていく地元企業の若手経営者、幹部職員を会員とし相互間の啓発及び親睦を目的として「えちしん経済懇話会」の設立。
4. 取組み内容	<p>地元経済の安定には中小企業金融の円滑化と同時に取引先の財務内容の健全性維持が必要であり、昨今の厳しい経済環境を勝ち抜くため、経営コンサルティング会社と契約し講師の派遣を受け若手経営者や後継者の経営能力の向上を図るための勉強会を開催しています。</p> <p>平成21年7月28日 第1回セミナー 参加者 31名 平成21年11月2日 第2回セミナー 参加者 17名 平成22年4月6日 第3回セミナー 参加者 27名</p> <p>勉強会は年3回開催します。その他、コンサルティング会社より月1回、会員あてに経営講座をCDにて提供が行われています。</p> <p>又、大学の教授を講師として招き講演会を開催し会員・取引先より多くの参加がありました。</p> <p>平成22年2月3日 講演会 参加者 150名</p>
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】 専門講師による勉強会や会員同士の異業種交流により、幅広い情報の収集が期待できます。</p> <p>【当行(金庫・組合)にとっての成果】 現会員数は昨年より12名増加し44名となっており、今後も継続して勉強会を行うことで、不況に強い堅固な体力を持つ企業の育成と将来の地元経済の安定を図っています。</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】 会員数も増加し認知度は高くなってきていると考えています。早期に効果が確認できることではありませんが、若手の経営者や後継者の経営能力の向上を図る勉強会は、今後も継続することにより効果が期待できると考えています。又、当セミナーには当金庫職員も参加し情報交換をすることで取引先の状況の把握や信頼関係の構築を図っています。</p>

## 地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 越前信用金庫)

1. 項目	【大項目】ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 【小項目】事業再生支援
2. タイトル	福井県中小企業再生支援協議会との連携
3. 動機(経緯)	取引先の事業再生支援において福井県中小企業再生支援協議会と連携しランクアップを図る。
4. 取組み内容	事業再生を図り経営改善計画を策定する際、中小企業再生支援協議会の専門的な知識・機能を活用しランクアップを図っています。取引先が支援協議会へ行く際は当金庫職員も同行しています。 平成21年度は3先、福井県中小企業再生支援協議会にて改善計画を策定しました。 又、過年度に策定済みの先については、定期的に中小企業者と支援協議会の継続モニタリングに当金庫職員も参加し改善の進捗状況の検証を行っています。
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 中小企業診断士等の専門家による企業分析を踏まえて作成される経営改善計画であり、実現の可能性が高い計画の策定ができます。 【当行(金庫・組合)にとっての成果】 経営者にとっては厳しい、指導・指摘を受ける場合もあるが専門家からの意見であり受け入れやすく、又、問題点が明確になり実現の可能性が高い抜本的な計画が策定され企業の経営改善が期待されます。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 中小企業診断士等の専門家が企業を分析した中、作成した改善計画であり改善の可能性が高いと思われる。 【今後の課題】 厳しい経営環境が続いており、随時モニタリングを実施し継続的に経営改善の進捗状況の検証が必要であります。

## 地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 越前信用金庫)

1. 項目	<p>【大項目】 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> <p>【小項目】 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み</p>
2. タイトル	機械設備を担保としたABL等
3. 動機(経緯)	動産である機械設備を担保として活用し、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資に取組み取引先の金融の円滑化を図る。
4. 取組み内容	<p>担保保証に過度に依存しない融資商品の取組みとして、取引先が事業に供している設備を担保とするしんきんMEサポート(設備担保信用補完制度)推進を図る。</p> <p>売掛債権担保融資(信用保証協会付)を推進する。</p> <p>信用保証協会の利用を推進する。</p> <p>事業からのキャッシュフローを重視した融資審査を行う。</p>
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての効果】</p> <p>事業に供している機械設備を担保とすることで、不動産を所有していない中小企業者でも、人的保証に過度に依存することなく資金調達が可能となる。</p> <p>【当行(金庫・組合)にとっての効果】</p> <p>不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資により金融の円滑化が図れる。</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>既導入済みの機械設備を担保し、しんきんMEサポート利用による貸出に取組みましたが、成約に至りませんでした。</p> <p>今後もしんきんMEサポートの利用を推進していきます。</p>

## 地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 越前信用金庫)

1. 項目	【大項目】地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	地元商工会議所との連帯とビジネスマッチング等
3. 動機(経緯)	地元商工会議所と連携した情報提供によるビジネスマッチングやしんきんビジネスフェアの取引先への周知を継続して取組む。
4. 取組み内容	全国信用金庫協会からのビジネスマッチング情報を会議所へ提供し商工会議所広報に掲載しています。 しんきんビジネスフェアへの参加を推奨し、ビジネスマッチング機会を提供しています。 大野・勝山市内店舗のロビーに商工会議所情報コーナーを設置し情報提供に努めています。
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 商談成立は1件だけであったが、出店者5先で、事前マッチング商談申込が40件、当日の商談申込が24件あり、多くの商談機会が得られました。 【当行(金庫・組合)にとっての成果】 しんきんビジネスフェアに当金庫取引先、出展者5先、見学者20名の参加があり1先商談が成約となりました。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 今後もビジネスマッチングの情報・機会を継続的に提供し、事業の拡大に結び付けばと考えています。 【今後の課題】 今後も、より多岐に渡る情報の提供に努める必要があると考えています。

## 地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 越前信用金庫)

1. 項目	【大項目】地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	社会貢献商品「環境クリーン定期」の取扱い
3. 動機(経緯)	地域とともに歩む信用金庫の原点(地域密着)を踏まえ、地域貢献・社会貢献活動を通じて、地元へ貢献できる商品として考案
4. 取組み内容	<p>商品名 「エコ想い」  対象者 事業主を含む個人  適用利率 店頭表示金利の0.1%上乘せ  預入金額 10万円以上500万円以内  粗品 契約者にエコロジーセット・ハンドソープのいずれか1つを進呈  取扱期間 5月18日～10月30日  募集総額 50億円</p> <p>上記商品を取扱うことで環境保全への認識を高める。又、契約金額の0.02%を地公体へ寄付し環境保全活動に役立てていただく。</p>
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】  ご契約いただくことでお客様も地元へ貢献する仕組みとなっています。</p> <p>【当行(金庫・組合)にとっての成果】  4,063口座、5,039百万円の契約を獲得。  契約額の0.02%相当の103万円を当金庫より拠出し、平成21年11月、支店がある地公体に管轄店舗数割にて寄付しました。  (大野市48万円、勝山市34万円、福井市21万円)</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】  本商品を取扱ったことで、お客様に環境保全の認識が高まったと考えています。又、地元地公体に環境保全活動に役立てていただくための寄付をしたことで地元社会にも貢献できたと考えています。</p> <p>【今後の課題】  環境保全は一時的なものではなく継続することが必要であり本年も取扱を継続しています。</p>